

No. 5

発行所 東京都中央区築地3~1
(本願寺内) 全日本仏教会
発行人 岩野真雄
編集人 柳了
印刷所 大同印刷株式会社

購売料 1部6円 1ヶ年分70円

全佛通信

花まつりを全国的に展開

各地の準備着々進む

いまから三千年前の四月八日、百花咲きみだれるルンビニの園で、誕生された釈尊の降誕を祝う「花まつり」は年毎に盛んになって来たが、本年は全国的に四月八日より五月八日までを「花まつり月間」とし、わが国八万の全寺院、四千万の仏教徒が挙げてこの「花まつり」を祝うべく、目下関東、関西に「花まつり委員会」を設け準備している。

本会では既報の通り花まつり委員会を結成し関東、関西で着々とその準備をすすめてきたが東京では去る一月十三日以来数回に亘つて委員会を開き中央大会を始め各種花まつり行事のめらち方、教材等夫々専門的立場から研究協議が進められて来た。その結果大要次の通り全国各宗派、都道府県仏教会及び各団体へ夫々連絡を発信関係各方面の努力と奮起とを要望している。

一、花まつり月間の制定と全国行事の組織的発表

来る四月八日から一ヶ月を花まつり月間とし、この間全国寺院、学校、幼稚園保育園その他団体等で必ず何等かの形で花まつり行事を一齊に展開すること、尙それらの行事は本会が全国的にニニースを蒐集して各放送、テレビ、新聞等、国内国外のニニース網のせて仏教徒の力を盛り上げて報道する。

二、花まつりの意義の徹底

花まつり本来の意義を没却した行事が如何に盛大になつても無意味である。商業関係者を利用し動員する事は必要ではあるが之等に利用さ



(写真) 花まつりポスター
大さ(四六半才新開紙二頁大) 日きつ
六色で美しいもの、三月三日にお願
ろ完成、送料実費一枚につき
円で希望宗派団体にお願
たします至急御申込下さい

れぬ様先ず注意する必要がある。積極的ニデパート、商工会、浴場、文房具店、玩具店、組合等に連絡し主体性をもつよう努力しよう。
三、全国寺院、学校等に必ず仏旗を掲げよう
仏教徒たるの自覚のもと、国際的に定められた大彩色の仏旗をへんぼんとかけてみ仏の誕生を祝福しよう。

四、「仏教徒の歌」を声高らかに合唱しよう

本会が制定した「仏教徒の歌」ああこのよるこびりは土岐善麿作詞、平井康三郎作曲になるもので極めて明るく歌い易い大衆的メロデーで発表された。花まつり月間に限らず仏教行事には是非全国津々浦々で声高らかに合唱しよう。
楽譜、レコードは三月中旬完成(二〇〇円送料一枚に付百円)で頒布されますから御申込下さい

各地花まつりの模様

★大阪 花まつり行事として種々の計画がもたれ、それぞれその具体化が進められている。四月八日午後六時よりガスペルに於て式典並に講演(京大教授井上智勇博士の予定)大阪混声合唱団によるコーラスなどが行われる予定でこのほか四天王寺、各地区仏教会、各寺院に於ずも夫々独自の花まつり行事が行はれる。

★京都 花まつり奉賛会が去る十六日委員会を開き本年度花まつりの諸計画について意見の交換があり、式典のほか佛教幼稚園協会の園児の行進、仏青連盟の花まつり大会、お伽車の市内巡廻、甘茶風呂、商店街の花まつり、各支部各組の花まつり開催奨励、ヘリコプターによる散華等、多彩な行事が行われる模様。

★神戸 神戸市仏教会が中心になり、大々的に花まつり行事を行い一般の関心を集めると共に仏教徒に自覚を促すべく各種の計画にしたがつて準備が進められている。
★東京 東京仏教団が中心となり、各区仏教会、更に各ブロック、各寺院に於ても又日比谷中央大会など花まつり行事が行われるが詳細は次号にて。なお東西本願寺では各末寺へポスター1等を送り、各寺院で花まつりを開くよう慫慂する外、本山に於ても盛大に行われる。
★本会では各宗派、各地区からの花まつりに関する具体的行事計画を全仏通信に掲載発表するため各地からの報告を望んでいる。報告のあつた分は次号に掲載の予定。

ビルマ派遣留學僧氏名

- 東元慶喜(四三)曹洞宗 山田義天(二四)曹洞宗 岡本秀通(二八)曹洞宗 五島行宣(二二)真宗大谷派 矢放謙亮(四〇)法華宗真門流 三神栄恵(二四)智山派 白幡憲佑(二四)浄土宗 近藤止也(二七)浄土宗 内田信也(二二)真宗本派 川端照道(二六)真宗仏光寺派 福永隆昭(二七)天台真盛宗 (括弧内は年令)

花祭りに「佛旗の波」をくりひろげよう

——特に寺院や各団体に佛旗掲揚運動の推進を要望する——

全仏教徒共通の信仰の象徴として昨年の永平寺大会で「仏旗」の掲揚を決定してより、近く花まつりをひかえて、大阪四天王寺の大暈申込を筆頭に、各寺院、各幼稚園、各社会事業関係団体からの申込と問い合わせが全仏本部や総製作高島屋に集中され、関係者を忙殺させている。ことに花まつり行事の一つとして全国的に花まつりセールその他の催しものがおこなわれる予定なので、仏旗はこの春から全国的に春の粧いの一つとしてその多彩で心豊かな旗の波をくりひろげることとなる。

仏旗は正確には「万国仏旗」とよばれるべく既に数年前セイロンの世界仏教徒会議で決定し昨年全日本仏教会における全仏教宗団の一大団結を契機として大々的に掲揚することになったのであるが、その大旗は寺院や団体につきも重々と大衆に仰ぎ見られるように、中旗は仏日や祝祭日に信徒の軒々にかかげられるよう、小旗は集会や行進のときの手旗として用意されている。

仏旗の色彩はまことにあざやかで、巧まずして芸術的だと、専門家が驚嘆している。その五色についての仏教的意義その他の詳細については近く配布用の印刷物が作られ、大衆の普及活動が打ち出される筈になっているので利用されたい。

ここに特にお願いしたいことは、各寺院および各団体信徒大衆の本拠として、大仏旗をまずその境内に亭々と高くうちたてられ、仏旗の威容を掲示していただきたいこと、ついで中旗や小旗を信徒におすすめ願うことである。仏旗の申込照会等は本会内仏旗普及本部

へ願います。(大)一、八〇〇円(中)三、五〇〇円(小)七、五〇〇円

厳肅な式典と大合唱

「涅槃会と仏教徒の歌発表会」

去る二月十五日午後一時より、本会では、東京仏教団、仏教主義学校連盟と共催、朝日生命、日本ポリドール後援により、東京駅前朝日生命ホールに於て「涅槃会と仏教徒の歌発表会」を開催した。



当日は四百余名の来会者があり、柳部長司会のもとに、長井博士主唱で三扁依文、仏教徒の誓い、千代田女学園生の聖歌、栗本理事の挨拶、朝日生命藤川社長の奉讃のことばに続いて友松事務総長が「涅槃会について」の講話を行い、ついで岩野組織局長が仏歌制定の主旨を説明、作詞者土岐善膺博士の挨拶があつて、岩崎成章氏による発表、歌唱指導があり、四百名の会衆による大合唱が行われた。

仏教徒の歌は岩崎氏による一回の歌唱指導によつて全員合唱が出来るほど親しみのある歌い易いもので、歸路にメロディーを口づさむ女子学生も見受けられるなど、その普及に

ついて明るい見通しがもたれている。(写真上は聖歌発表・下は児童合唱団員)

花まつり教材紹介

本会では花まつり行事を全国的に出来るだけ盛大にするため、報道機関を通じて広く一般に啓蒙宣伝すると共に、ポスター製作その他によつて各地で行われる花まつり行事のためには便宜をはかるように努めて来たが、最近花まつり教材に関しての照会が頻々となるので、以下信頼し得るものを紹介する。

○三宝閣扱のもの

徽章類として象ベツジ各種、花徽章(リボン製)全役員章、稚児徽章などがあり、宣伝用品類としては提燈ポスター、花まつりポスター、小型ポスターがある。また記念品類としては絵本花まつり、絵話おしやかさまカード、花祭ノート、花御堂、釈尊カード、花まつり誕生仏、家庭用三ツ折尊像、児童行進旗、ゴム提燈(新案大型提燈)花御堂装飾造花セツトなどがある。

見本請求者は徽章類一揃は八十円、全部の見本の希望者は三百円、夫々三宝閣宛送付請求のこと。

○国際仏教伝道会扱のもの

花徽章(セルロイド製三色ビラ付)象ベツジ(木製とセルロイド製の二種、見本は送料共夫々十円)ゴム風船(三色毛棒付、見本送料共十円)などのほか「花まつり」という絵入りの施本(十六頁見本送料共十円)房付しおり(二枚一組)など青少年向きものがある。また花御堂(特大、大、中、小の四種)およびポスターも各種準備している。

○東京神田寺内真理運動本部でも花まつり用施本を刊行している。詳細は同本部宛照会されたい。

○花まつり用レコードで既に発売されているものは次号に発表する予定。

◎ こどもの花まつり ◎
発行：案内
お子さまがたの、花まつりのたのしいおくりものとして、フレール館では、各宗派各団体のご後援をえて「こどもの花まつり」という絵本を発行いたしました。四色刷りのあかるく美しい絵本です。幼稚園・保育園・日曜学校・寺院等の色まつりの行事に、ぜひご利用くださいませうようお願い申し上げます。定価10円

東京都千代田区神田小川町
キンダーブック発行所
株式会社フレール館
振替東京一九六四〇

三 宝 閣

○東京都千代田区代官町二
電話丸の内(23)二〇六六番
振替東京 五四七九九番

花祭各種用品多数

国際佛教傳道会

○東京都中野区鷺宮一ノ二六八
電話荻窪(39)四八八四番
振替一九三〇六一番

誕生仏一、〇〇〇円(送料共)

高橋 鐘 声 堂

京都市東本願寺前

申込は全仏へお早

……仏社事連結成大会開かる

全国的組織を以て

予ねて準備中であつた「関東甲信越仏教社会福祉事業連盟」は去る二月八日午後一時より築地本願寺講堂に結成大会を開催した。

当日の参加者は各都県から七十余名に達し草葉隆円大会委員長をはじめ本願寺派、大谷派、曹洞宗、豊山派、日蓮宗、浄土宗等の各宗代表、佐々木全仏理事長、全社協中川総務部長等の来賓があり、この連盟結成に對する強い関心と熱意のほどがうかがわれた。



(写真) 佐木理事長のあいさつ

準備委員古屋道雄氏の司会で、仏教讃歌の奏楽によつて黙想、ついで浅草本願寺重永輪番の首唱で三歸依文を唱和、草葉大会委員長を座長に推して、準備委員長高木武三郎氏より経過報告、古坂明詮氏より連盟規約案の説明があり一括審議によつて原案を承認した。

大会はこれより詮衡委員を設けて役員選出に移り、委員会に於て詮衡中、来賓各位の祝辞があつて後、役員発表、大会はこれを承認し、会長に推された草葉隆円氏より本連盟の全国的組織への発展のために全力を尽すとの力強い挨拶があり、次の如き大会宣言と決議を発表、今後組織強化による連盟発展のため一層の団結と協力を約して意義ある大会の幕を閉じた。このあと厚生省児童局長太宰博邦氏の「児童の福祉と家庭」と題せる一時間余に亘る記念講演が行われ、来会者に仏教社会福祉事業の使命の重いこと、期待の大なることを訴えて感銘を与え、午後四時散

会、会場を虎の門共済会館に移し、椎尾増上寺法主を始めとする三十名余の出席者を得て懇親会を開き、晚餐を俱にし乍ら和やかな歓談の時を過ぎ、六時半に会を閉じた。

猶、翌朝は午前十時より熱心な参加者により共済会館で研究会がもたれ、連盟のあり方社会福祉事業に於ける仏教的使命などにつき討論された。

宣 言

この秋に當つて、吾等関東甲信越地域仏教社会福祉事業家は、全国連盟の結成を目標として先づ吾等が地域内事業団体の連盟を結成し、団結を強固にし、不惜身命の決意を以て社会の期待に酬いんことを期す。

決 議

一、吾等仏教社会福祉事業家は、その施設内容を充実し、仏教精神による共済思想の愈々横溢せんことを期す。

二、吾等仏教社会福祉事業家は、その施設の増加による使命達成のため、一寺院・一教会一施設の実現を期す。

三、吾等仏教社会福祉事業家は、人類の幸福と社会の安寧の為に社会保障制度の早期確立を期す。昭和三十年二月八日

一、吾等仏教社会福祉事業家は、人類の幸福と社会の安寧の為に社会保障制度の早期確立を期す。昭和三十年二月八日

二、吾等仏教社会福祉事業家は、人類の幸福と社会の安寧の為に社会保障制度の早期確立を期す。昭和三十年二月八日

三、吾等仏教社会福祉事業家は、人類の幸福と社会の安寧の為に社会保障制度の早期確立を期す。昭和三十年二月八日

東 関 東 仏 教 社 会 福 祉 事 業 連 盟 結 成 大 会
甲 信 越

仏教の國ビルマのスライド、三月二十日ころ完成、(天然色)すわいる社より発行、手約六〇〇円

常務理事会、理事会報告

理事会開催の前日二月十八日正午より、築地本願寺来賓室に於て常務理事会が開催された。出席常務理事は佐々木泰翁、長岡慶信、森川智徳、鶴川清、栗木俊道、重永潜、友松円諦、岩野真雄、北島教真、中山理々浦井亮文、奥本大忍、植松威の理事の外副会長長井眞琴先生、関西事務局大内主事氏等が出席され委任状十通の報告があり、佐々木理事長議長となり、四部長の事務報告の後、昭和三十年度予算を中心として理事会に提出する協議事項が慎重に審議され午後四時終了した。

議題二、昭和三十年度予算編成に関する件は慎重審議の結果、原案通り可決、議題三、評議員会開催に関する件は三月下旬に開催、日時は後日決定することを承認、議題四、本会法人格取得準備に関する件は法人とすることとし、その研究と手続きは常務理事法学博士小野清一郎氏を中心に準備を進めることを承認。議題五、花まつりに関する件は全国一齊にそれぞれの地域単位で盛んなる花祭りを行い得るよう教材資料等を全仏通信を通じて紹介することを承認。その他本会運営に関して活発な発言があつて盛會裡に午後四時閉会した。

理 事 会

二月十九日午後一時より、年度末を迎えの全日本仏教会理事会は、築地本願寺第一控室に佐々木泰翁氏ほか二〇名の理事が出席して開催された。

先ず藤音得忍氏ほか三十名の理事の委任状を報告し、規定により佐々木理事長が議長となり、開会のことばを述べて各局報告に入つた。

総務局より人事(国際部長滝照道氏辞任)宗教法人に対する法人税の賦課、会計現況、その他。組織局より涅槃会と仏教徒の歌発表会、仏教徒の歌制定、関東甲信越仏教社会福祉事業大会、関東甲信越仏教会会長会同、花まつり、全仏通信、その他。国際局よりビルマ会議、ビルマ留学僧、文中寺改修につき感謝状贈呈、中国における日本人遺骨引取り、アジア諸国会議、シンガポールへ地藏尊像贈呈その他につきそれぞれ担当各局、部長より報告が行われ、引き続き協議に移り議題一、理事推薦の件は、意義なく次の七氏(原仏教会会長)を承認。伊藤公禪(福島)金山活牛(宮城県連盟)安藤壽雄(新潟)雲藤空善(島根)朽木正巳(秋田)遠藤靈羊(岩手)成田龍観(青森)

議題二、昭和三十年度予算編成に関する件は慎重審議の結果、原案通り可決、議題三、評議員会開催に関する件は三月下旬に開催、日時は後日決定することを承認、議題四、本会法人格取得準備に関する件は法人とすることとし、その研究と手続きは常務理事法学博士小野清一郎氏を中心に準備を進めることを承認。議題五、花まつりに関する件は全国一齊にそれぞれの地域単位で盛んなる花祭りを行い得るよう教材資料等を全仏通信を通じて紹介することを承認。その他本会運営に関して活発な発言があつて盛會裡に午後四時閉会した。

先ず藤音得忍氏ほか三十名の理事の委任状を報告し、規定により佐々木理事長が議長となり、開会のことばを述べて各局報告に入つた。

総務局より人事(国際部長滝照道氏辞任)宗教法人に対する法人税の賦課、会計現況、その他。組織局より涅槃会と仏教徒の歌発表会、仏教徒の歌制定、関東甲信越仏教社会福祉事業大会、関東甲信越仏教会会長会同、花まつり、全仏通信、その他。国際局よりビルマ会議、ビルマ留学僧、文中寺改修につき感謝状贈呈、中国における日本人遺骨引取り、アジア諸国会議、シンガポールへ地藏尊像贈呈その他につきそれぞれ担当各局、部長より報告が行われ、引き続き協議に移り議題一、理事推薦の件は、意義なく次の七氏(原仏教会会長)を承認。伊藤公禪(福島)金山活牛(宮城県連盟)安藤壽雄(新潟)雲藤空善(島根)朽木正巳(秋田)遠藤靈羊(岩手)成田龍観(青森)

議題二、昭和三十年度予算編成に関する件は慎重審議の結果、原案通り可決、議題三、評議員会開催に関する件は三月下旬に開催、日時は後日決定することを承認、議題四、本会法人格取得準備に関する件は法人とすることとし、その研究と手続きは常務理事法学博士小野清一郎氏を中心に準備を進めることを承認。議題五、花まつりに関する件は全国一齊にそれぞれの地域単位で盛んなる花祭りを行い得るよう教材資料等を全仏通信を通じて紹介することを承認。その他本会運営に関して活発な発言があつて盛會裡に午後四時閉会した。

世界仏教百科辞典に 協力要請

マ博士近く来日:

ビルマ大会で世界仏教徒連盟会長に三選されたマハラセイケラ博士は最近本会並に長井副会長宛に書簡を寄せ、セイロン仏教会で仏紀二千五百年を記念して仏教百科辞典(英文)を刊行するについて協力を要請して来た。

この辞典は中国、チベット、滿洲蒙古、上座部、日本等の全仏教に亘るもので、これを仏教史、教理史、仏教文学、仏教美術・仏教建築及彫刻著名仏教者伝等の各方面から取扱い全五巻、一萬頁に及ぶものになると言われる。

マ博士はこの辞典への協力要請と具体的打合せのため三月下旬約二週間の予定で来日するので、本会でも博士を迎えての計画具体化のために準備を進めている。

海をわたる地藏菩薩

高野山からシンガポールへ

世界仏教徒連盟シンガポール分会長ピッチンフイ女史が経営する大菩提学校の講堂に生徒の礼拝用として日本の地藏菩薩をせび送つてほしいとの申出が本会にあつたので、早速各方面へ物色中のあるところ、高野山真言宗では喜んでこれを引受けることになり、親王院地藏菩薩を去る十五日出発の飛行機で同地へおこつた。

「讚仰歌発表音楽会」

全仏て協賛

東本願寺の大谷楽苑合唱部では、次の通り讚仰歌発表音楽会を東京に

於て開催することになり、全日本仏教会ではこれにク花まつり月間行事の一環として協賛することになった。讚仰歌は大谷楽苑が全国に歌詞を募り、約千八百の応募作品中より二十曲を選び、現代一流作曲家に依頼完成した新仏教聖歌で、仏教音楽をますます発展させるためにも、このような試みに多くの方々が参加来聴されることが望まれている。猶全仏で今度発表された「仏教徒の歌」も演奏される。

日時 四月十一日(月)午後七時

日時 三月十四日 午後一時
場所 東京音羽大本山護国寺

ビルマ戦没者慰霊大法要

並に第三回世界佛敎徒会議報告会

主催 全日本佛敎会
協賛 東京佛敎団 厚生省 (交渉中)

会場 丸の内・第一生命ホール
指揮 木下保
独唱 大谷楽苑合唱部演奏
藤田悠起子 竹内光夫
林 達次

ピアノ ワルター・ノグイック
猶、同楽苑は翌十二日午後一時より日比谷会堂に於ける全日本仏教婦人連盟結成大会にも演奏し、更に同日午後皇居に於て御前演奏をおこなう予定で、仏教音楽の御前演奏は恐らく未曾有のことであり、その成功が望まれる。

恒久平和のための祈念像を!

長崎仏連から協賛を要請
原爆の犠牲となつた長崎市は「ピース・フロム・ナガサキ」との悲願成就のため平和祈念像建立実現に努力を続けて来た。これに表裏一体となつて協力してきた長崎県仏教連合会は、全仏教界にこの主旨を訴え協力を仰ぐため、今般本会に協力を要請して来たが、本会としては平和実現が全仏教徒、否全日本人、全人類の悲願であるところからこれに協賛することになった。

文部省からの注意

この度「学
校家庭新聞株式
会社」の社員が文部省調
査局宗務課員の名刺を用いて、文部省から下命されたものであると
称し、ガリ版
刷りの趣意書を出し「宗教総覧」定
価二、〇〇〇円を發行するように勸
め予約した団体から内金一、〇〇〇
円を受けとつていと云う事実があり
ましたことを聞き及びましたので
貴加盟団体にこの旨をお伝え下さい
ますようお願い致します。

なお、同社主意書には、賛助員として某代議士の名を連ね、かつ文部省下命のとき字句を用いてある由にて、本省ではこのような事を委嘱した事実はありませんので、念のため申し添えます。追つて、同社の社

事務総局日誌抄

員は東京都内は勿論のこと、特に地方へ出張勤務している由であります

一月二十二日 正午より築地本願寺第一控室にて常務理事会開催、法人格取得、理事推薦、理事会並びに評議員会開催、加盟団体負担金基準法人税、ビルマ法要と報告講演会開催、涅槃会と仏教徒の歌発表会、花まつり委員会、関東甲信越仏教社会福祉事業大会開催、ビルマ派遣留學僧選考並びに派遣準備、出発その他につき協議。四時終了。

出席者 佐々木 阿部 倉持 小野 栗本 常光 友松 岩野 中山 北畠 重永 中井(代山本)渡辺(代栗本)清田(代浦井)

全日 午後四時から芝女子会館で開かれた文部事務官「井上恵行氏を労ろう会」に友松総長、岩野局長、小野塚、別所部長出席。
一月二十八日 午後一時より築地本願寺会議室にて土岐善麿氏作詞の仏教徒の歌「ああこのよろこび」作曲試總會を開催、土岐善麿、長田恒雄、賀来琢磨、権藤田立、佐々木理事長、岩野局長等審査員諸氏により厳重審査の上、平井康三郎氏作曲による歌が選ばれた。
一月三十日 午前十時より事務局にてビルマ派遣留學僧志願者に対し考査を行う。
二月一日 隆文館より仏典說話全集一組の寄贈を受ける。
二月二日 宗教法人法による非課税品目付加についての依頼状を文部大臣に提出。

貯蓄のツツ!
貸付信託
1口・5千円 2年・5年
配当予想 最高年9分5厘見当
安田信託銀行 東京・中央区八重洲1
支店 新宿・虎ノ門・神田・下谷・大塚馬町・京橋

二月十日 正午より銀座三笠会館にて報道関係者招待会を開き花まつりを中心として意見を聞くとともに援助方を懇請。
二月十三日 午後二時より小石川両羽会館にて関東甲信越仏教会長会同を開催。
同日 午後文部省社会教育施設課長大田周夫氏(前宗務課長)新宗務課長宮川孝夫氏就任挨拶に来局。
ビルマ派遣代表団は帰朝後機申し一部を往路立寄つて世話を受けた沖繩仏教会宛寄贈の図書購入費に充て他を留守職員に贈つて慰勞した。

(あ) (と) (が) (き)

▽花まつりも近づき各地共準備にお忙しいこと存じます。二、三月号は花まつり特集となりました。▽大衆に親しまれる花まつりとして華やかに大いに仏教徒の意気を示しましょう。(や)